

と言われだしているが、その観点からも、社会教育はますます重要となってくる。学校教育に関しても、我々の調査結果や、大阪教育大学の調査結果(天文月報1989年3月号)から様々な問題点があることがわかる。この問題に対しても考えていく必要がある。

今、研究者一人一人に対し、もっと天文教育の重要性を認識し、積極的に普及活動、例えば一般に対する研究成果の発表などを行っていく姿勢が様々な方面から要求されてきているのではなからうか。それらの要求に答える活動は、きっと、研究者自身の活力の向上や、天文学の層の厚さへとつながっていくものとなるに違いない。

お知らせ

第 3 回天文教育研究会の開催のお知らせ

8月4日～7日に北軽井沢観天天文台において上記研究会が開催されます。各方面の教育・普及活動の議論、個々の研究発表に加えて、天文教育・普及研究会という組織の設立に関する議論がされる予定です。案内書希望の方は72円切手を貼った封筒に自分の住所氏名を書いて、国立天文台磯部瑋三まで申し込んで下さい。

1990年7月22日の皆既日食について

この日食帯は、ヘルシンキからソビエトの北部を通り、北太平洋にぬけるものである。フィンランドにおけるコーディネイターは、

Dr. Heikki Oja,  
Univ. of Helsinki Obs. and  
Astrophysics Laboratory  
Tahtitorninmaki, SF-00130  
Helsinki, Finland

ソビエトでは

Prof. E. V. Kononovich  
President of the Solar Eclipse Committee  
Astronomical Council of the Academy of  
Sciences of the USSR

48, Pjatsnitskaja St., Moscow 109071, USSR

である。ソビエトにおける観測地は、生活環境がきびしく、宿舎、輸送、食糧などを協力し合うことが求められている。(日江井栄二郎)

天体観測専門誌

天文ガイド

8月号 定価520円(税込み) 7月5日発売

特集 夏の星雲・星団の探し方見方

広角シュミットによる写真を星図代わりに、双眼鏡、望遠鏡で見る、夏の夜の美しい星空を探訪。

メキシコ日食への誘い

1991年7月、メキシコ、ハワイで見られる日食の見え方等を詳報。天文ガイドでもツアー計画中!

ニューフェイステストレポート

タカハシ製の新型赤道儀、EM-200。全体の強度アップと追尾制度の向上を旨とした期待の架台。

- 8月のスターウォッチング ● 8月の観測資料
- 観測ガイド ● 情報ボックス…など情報満載

チロの天文シリーズ

藤井旭の星雲・星団ガイド

星雲・星団の見つけ方、見え方について、その位置する星座ごとに、詳しい星図を四季に分けて紹介し、あわせて星雲・星団の写真撮影のテクニックと、よく詳しく観測するための機材の選び方や使い方についても、やさしく解説。小・中学生を対象にした天文入門書「チロの天文シリーズ」の第6冊目。

- 藤井 旭 著
- 四六判/102頁
- 定価970円(税込み)

